

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、産婦人科では、本学で保管している診療後の手術検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 子宮内膜症手術検体を用いた女性ホルモンレセプター発現の調査研究

[研究対象者のうち、この情報公開文書の対象者] 2000年1月1日から2025年8月21日の間に東京女子医科大学産婦人科で子宮内膜症と診断され手術を受けられた患者さん

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：手術で採取し、病理検査を行った後の余った検体

診療情報等：年齢、性別、身長、体重、妊娠歴、出産歴、診断名、手術名、治療内容、血液検査結果 画像診断検査結果、治療薬の内服期間

[利用の目的] (遺伝子解析研究： 無)

子宮内膜症手術検体を用いた女性ホルモンレセプター発現について解明することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2029年12月までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 産婦人科 教授 田畠務

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 産婦人科 講師 堀部悠

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）